

KIGA FOOTBALL CLUB NEWS

~ Seize the moment ! Go beyond your limits . ~

1 . RESULTS

<平成20年度静岡県高校サッカー新人大会西部地区大会>

「悲願の県大会へあと一步まで迫るも・・・」

予選リーグ

1 / 10 (土) 気賀 8 - 0 横須賀 (得)大窪翔、OG、山下、松原2、山田2、真瀬
 1 / 11 (日) 気賀 11 - 0 池新田 (得)堀田、大窪翔4、坪井2、川合2、今田、山田
 1 / 17 (土) 気賀 1 - 1 城北工 (得)山田 (PK)
 1 / 18 (日) 気賀 2 - 2 浜名 (得)今田、山田
 予選リーグ2勝2分 2位、2次リーグへ

2次リーグ

1 / 24 (土) 気賀 0 - 0 掛川東 (得)なし
 1 / 25 (日) 気賀 1 - 2 磐田農 (得)川合
 1 / 31 (土) 気賀 1 - 0 磐田南 (得)山田
 2次リーグ1勝1敗1分 2位、2次リーグ敗退

またしても県大会出場を逃した。2次リーグ2位=西部11・12位(県大会出場は10位まで)での敗退ということで、まさにあと一步まで迫ったものの及ばなかった。

今大会を振り返ると、何試合か重要なポイントがあったが、重要なゲームになればなるほど「甘さ」が目立ってしまっていた。特に予選リーグのVS城北工、2次リーグのVS掛川東、VS磐田農は自分たちの持っている力を出し切れない、非常に歯がゆい内容のゲームであった。逆にVS浜名は、予選2位以内が確定した中でのゲームであったため(勝てば予選1位で県大会確定ではあったが)、強豪チーム相手にミスを恐れず果敢にチャレンジすることができ、素晴らしい内容のゲームを展開することができた。

大会を通じて好不調の波が激しく安定しない、浜名のような強豪相手に最高のパフォーマンスを見せたかと思えば、戦う姿勢が全く伝わらないゲームも多かった。厳しいゲームにおいて、ゲームから「消えてしまう」選手、ゲームに「関われない」選手、自分の感情をコントロールできず「自らパフォーマンスを低下させてしまう」選手・・・チームとして、個人としての「実力」のなさを突き付けられる結果となった。

今回も県大会出場を逃してしまったという結果を重く受け止めたい。しかし、我々が目指しているのは目先の県大会出場という結果ではない。常に県レベルで上位を狙えるチームを目指していくうえで、現状ではまだ県大会は早いのだということを実感し、もう一度ベースの部分から鍛え直していきたい。インターハイ予選まで残り約2ヶ月、しっかりとした「実力」を備えることができるよう、日々充実した活動を送りたい。

<練習試合>

2 / 8 (日) 気賀 3 - 0 科学技術 (得) 山田2、今田
 気賀 1 - 2 新居 (得) 川合
2 / 11 (水) 気賀 0 - 4 ホンダU18 (得) なし
2 / 14 (土) 気賀 0 - 1 浜松日体 (得) なし

<第8回みをつくしカップサッカー大会>

「大会3連覇達成！！」

予選リーグ

2 / 7 (土) 気賀 3 - 0 天竜・三ヶ日FC
 気賀 9 - 0 聖隷JY

決勝

2 / 8 (日) 気賀 6 - 1 引佐

今回の大会は、新人戦県大会と日程が重なっていたため、3年生に出場してもらった。3年生は、9月末の選手権終了後からほとんどトレーニングしていない為、不安も大きかったが、きっちりと結果を出してくれた。

これで大会3連覇を達成したのだが、今後は地域トップチームとしての自覚と、目標とされるようなチームとなっていけるよう努力していきたい。

2 . TOPICS

<校内マラソン大会>

「サッカー部上位独占！」

2 / 6 (金)に行われた校内マラソン大会において、8名が10位以内入賞を果たすなど、日頃のトレーニングの成果を発揮することができた。特に優勝した川合信吾は1年生ながら、大会新記録まであと7秒に迫る好記録で2位以下を大きく引き離しての優勝だった。来年の新記録樹立が期待される。

1位：川合 3位：今田 4位：松原 5位：真瀬 6位：白畑 7位：大山
9位：山田 10位：平澤 13位：小林 14位：川口 17位：堀田 18位：廣瀬
20位以下 牧田、山下
40位以下 大窪優、大窪翔、横山
70位以下 小野寺
不参加 坪井